

ダイヤモンド記事に対する普及促進委員会における
スカページュイサット社 木戸本部長の口頭説明

- ① 「スカパー！e2のビジネスに限界がある」と受け取られる部分に関しては、あくまで「帯域の拡張性に限界がある」とのことである。
- ② スカパー！HD開始に際し、スカパー・ブロードキャスティング（役務会社）が各番組供給事業者の窓口になることに伴い、「パッケージも弊社にて自由に組成できる」ように受け取られる記事になっている。しかし、弊社としては、既にご説明している通り、番組供給事業者各社様とご相談し、詳細決定していくスタンスに変更はない。
チャンネルの立場を「格下げ」とは弊社では申し上げていない。